

## オーディオシステムの素性の良さを相乗的に引き出すのが、クリスタルケーブルの特徴です

### ガビ・ラインベルト氏



Mrs. Gabi Rijnveld

欧州オランダを代表する最高級オーディオケーブルといえばシルテックとクリスタルケーブルの名前が挙げられよう。実は両者はラインベルト夫妻が主宰する同じ企業体である。このたびクリスタルケーブルの輸入元が株式会社セファンに移管されたことに伴ってガビ・ラインベルト氏が来日し、最新の製品紹介をいただいた。

三浦 実は私もクリスタルケーブルの愛用者なんです。とはいっても、初期のLINK (CEB139) デジタルケーブルとイヤフォン用ケーブルですが、便利に使っています。

ガビ・ラインベルト(以下、ガビ) ありがとうございます。当時と比べて音質は飛躍的に高まっていますから、最新のケーブルも聴いてください。

三浦 クリスタルケーブルは銀線で有名なシルテックと同じ経営母体ですね。ガビ そうです。私の夫であるエドウィン・ラインベルトがシルバー・テクノロジーを意味するシルテックを35年前の1983年に立ち上げました。コン

サートピアニストとして活動していた私は、それから音楽演奏を聴く立場のオーディオを敬愛するようになり、シルテックに参画しました。自分自身が主宰するクリスタルケーブルは2004年に創立したのです。

三浦 これまで日本では、リーズナブルな価格帯のケーブルを紹介する機会が多かったように思います。今回はハイエンド製品も積極的に扱うと伺っていますので興味深いですね。

ガビ 銀素材と金素材をオーディオ伝送にとって最適に活用できる高度な冶金技術が私たちの誇りです。たとえばクリスタルケーブルのシルバーIIゴールド導体は、純銀導体の超微細なギャップ(隙間)を純金で覆うことで理想的な信号伝送を実現しています。

三浦 個人的にはモノクリスタルという純銀導体に興味を抱いています。ハ

イエンドのアルティメイトドリームを筆頭に、すべて同軸構造のケーブルを採用しているのですね。

ガビ モノクリスタルは高度な精錬技術による単結晶の銀導体です。

三浦 日本で開発された銅素材のOC C製法によく似ていますね。

ガビ プロセスには時間がかかり、純銀ですから製造コストも膨大なものです。そのモノクリスタル純銀はセンターコアで、それを二重のカプトン素材で絶縁しています。その周囲を銀メッキ仕上げのモノクリスタル銅シールド(内層)と金メッキ仕上げのモノクリス

タル銀シールド(外層)で二重シールドしているのが、1本の同軸導体になります。たとえばアルティメイトドリームのスピーカーケーブルでは、それを6本構成にしているのです。

三浦 薄く金色に輝いて見えるのはそのためですね。でも、アルティメイトドリームのRCAラインケーブルは銀色に見えるのですが。

ガビ インターコネクトでは2層のシールドの順番を反転しています。これは私たちのR&Dにおける入念なリスニングテストでの判断です。

三浦 シルテックとクリスタルケーブルは、計測機器や試聴環境に膨大なコストをかけていると聞いています。最後に、クリスタルケーブルの音について語っていただけますか。

ガビ オーディオシステムの音質的な欠点を暴くのではなく、素性の良さを相乗的に引き出すのがクリスタルケーブルの特徴だと思っています。まずは音を実際に聴いてもらい、私たちが音楽を愛している情熱と培ってきた高度な技術を感じていただきたいと思いますね。

# Stereo Sound

2018年6月4日発売(年4回刊)第52巻第3号 巻207号

ISSN 1345-6105

## 誌定 本選 ベストバイ・スピーカー上位49モデルの音質テスト

